



東京教区時報

# きょうくニュース

第545号

2023年10月22日  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集 広報委員会  
委員長 渡辺康弘

WEB:<http://nssk.org/tokyo> E-MAIL:[comm.tko@nssk.org](mailto:comm.tko@nssk.org) Phone:03-3433-0987 Fax:03-3433-8678

## ◇10月の代祷・信施奉献先

▽野宿生活者支援のため(1)▽薬物依存リハビリ施設の働きのため▽小笠原諸島における宣教拠点のため(17日教会創立記念日)▽教役者緊急援助資金のため(15日)▽社会事業の日(29日)

## ◇東京教区成立100周年記念感謝礼拝

日時:11月3日(金・休)13時

場所:香蘭女学校礼拝堂

司式:東京教区聖職共同司式

説教:高橋 宏幸主教

※礼拝の様子は、当日映像が生中継され、終了後は録画を配信します。東京教区ホームページ又は聖アンデレ主教座聖堂のホームページからご覧いただけます。

## ☆おしらせとおねがい

11月3日の午後、感謝礼拝がおこなわれます。そこで当日お手伝い・参加いただける方を募集しています。

### (1) 会場での介助のボランティア

車いす・障がい者介助をしていただけるボランティアを募集します。ご協力いただける方は、下のアドレスまでお名前とご連絡先をお知らせください。[byukai316@gmail.com](mailto:byukai316@gmail.com) (障関連 代表 鶴飼良機)

### (2) こども聖歌隊の参加者

感謝礼拝の中で、アンセムとして「キリストの愛」という歌をみんなでお届けします。南千住こどもクワイアのみなさんが動画を用意してくださいます。それに合わせて、式場で一緒に歌ってくれる子どもたちを募集します。当日お昼12時15分に香蘭女学校礼拝堂に集まってください。

## ◇2023年度 教区墓地礼拝

11月1日(水)

八柱霊園 10:00 主任 下条知加子執事

染井霊園 11:00 主任 上田亜樹子司祭

雑司ヶ谷霊園 11:00 主任 卓志雄司祭

上川霊園 11:00 主任 成成鍾司祭

谷中霊園 14:00 主任 太田信三司祭

青山霊園 14:00 主任 下条裕章司祭

八王子・東京・南多摩霊園

14:00 主任 高柳章江執事

11月2日(木)

小平霊園 10:30 主任 須賀義和司祭

春秋苑 10:30 主任 下条裕章司祭

多磨霊園 14:00 主任 高橋 顕司祭

## ▽10月のインマヌエル新生教会「夕の黙想会」

日時:10月25日(水)19時~20時半

場所:インマヌエル新生教会

テーマ:詩篇と旅する

案内役:中川英樹司祭(東京教区 立教大学チャプレン)

## ▽チャリティー・フリーマーケット

「めじろフリマ2023Autumn」

日時:10月29日(日)13時~15時(雨天決行)

場所:目白聖公会

### 今週・来週の予定

10月22日~11月4日

22(日) 聖霊降臨後第21主日

29(日) 聖霊降臨後第22主日

30(月) 人権委員会(Web)

11月

2(木) 小平墓地礼拝

3(金・休) 東京教区成立100周年記念感謝礼拝

▽SSネットワークこども秋まつり

日時：11月11日（土）10時～15時

集合場所：JR 吉祥寺駅公園口（南口）（雨天中止）

問合せ：090-5349-3096（高橋）

ミニ電車に乗ったり、ゲームをして遊びます。

詳しくは教会のポスターをご覧ください。

【訂正】

2023年墓地礼拝のご案内ハガキに誤りがありましたので訂正いたします。

誤) 東京聖テモテ教会合同墓地前

正) 日本聖公会谷中霊園墓地前

エルサレムおよび中東聖公会 エルサレム教区 聖公会エルサレム教区による声明

教会は祈りのうちに団結し、病院における虐殺行為を断固として非難し、何百人もの罪のない一般市民の犠牲を悲しむ

エルサレム

2023年10月17日

平和と和解、そして悲惨な紛争の終結を祈る世界的な断食日が厳粛に守られる中、キリスト者たちは聖地にひとつになり、共に立った。しかし、この黙想の日は、イスラエルによる空爆の中で、ガザにある私たちのアル・アハリ聖公会病院が残虐な攻撃を受けたことにより、完膚なきまでに損なわれた。第二コリント 4:8-9a を引用する。「私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、迫害されても見捨てられず、倒されても滅びません。」私たちは、苦難に直面させられてもなお揺るがぬ霊を思い起こす。

聖公会エルサレム教区は、ガザ中心部で起きたこの残虐な攻撃を最も強い言葉で非難する。第一報によれば、無数の人命が失われ、人道に対する罪と表現するほかない事態が顕在化しているとのことである。国際人道法の原則によれば、病院は聖域であるにもかかわらず、この攻撃はその神聖な境界を踏み越えたものである。私たちは、医療施設の保護と避難命令の撤回を求めたジャスティン・ウェルビー大主教の呼びかけに賛同する。残念ながら、ガザは安全な避難場所を失ったままである。

目撃された惨状は、教会を標的とした冒濫的行為と相まって、人間の尊厳の根幹を揺るがすものである。私たちは、これが国際的な非難と報復に値すると明確に表明する。国際社会が、民間人を保護し、このような非人道的な恐ろしい行為が繰り返されないようにする義務を全うするよう、緊急のアピールが呼びかけられる。

私たちの敷地内で犠牲になった無数の魂の喪失を悲しむとともに、私たちはすべての教会と施設において喪に服する日を宣言する。我々は、友人、パートナー、そして善意の個人に対し、我々の献身的なスタッフと最も弱い立場にある患者に対する凶悪な襲撃を我々とともに悼み、連帯するよう強く要請する。

以上